

# 05 食道癌

※ レジメン名称を [クリック](#) または Ctrl + [クリック](#) してください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、“[現在のページを印刷する](#)”を選んでください。

	分類	コード	レジメン名称	備考
1	共通	05002-2A	<a href="#">FP 補助(手術前後・CRT 後)</a>	
2	共通	05004-1A	<a href="#">Docetaxel(食道)</a>	
3	科別(外科)	05005-1B	<a href="#">Low dose FP</a>	
4	科別(外科)	05006-1B	<a href="#">Low dose FP+Radiation</a>	
5	共通	05009-2A	<a href="#">Paclitaxel</a>	
6	共通	05010-1A	<a href="#">ニボルマブ療法(240mg)(食道 進行・再発)</a>	
7	共通	05011-1A	<a href="#">FOLFOX(食道)</a>	
8	共通	05012-1A	<a href="#">ペムブロリズマブ+FP</a>	
9	共通	05013-1A	<a href="#">DCF</a>	
10	共通	05014-2A	<a href="#">(標準)FP+Radiation</a>	
11	共通	05015-1A	<a href="#">ニボルマブ療法(480mg)(食道 進行・再発)</a>	
12	共通	05016-1A	<a href="#">ニボルマブ療法(240mg)(食道 術後補助)</a>	
13	共通	05017-1A	<a href="#">ニボルマブ療法(480mg)(食道 術後補助)</a>	

H27.7 改訂、H28.6 改訂、H30.1 改訂 R3.6 改訂 R3.12 改訂 R4.3 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
フルオロウラシル (5-FU)	800 mg/m <sup>2</sup> /day	div.(24h 持続)	Day1~5
シスプラチン(CDDP) (cisplatin)	80 mg/m <sup>2</sup> /day	i. v. (側管) 又はdiv.(2h)	Day1

3~4週毎(術前は3週毎・2クールで終了)

Regimen			
内服	アプレピタントカプセル及びデカドロン錠を併用する。		<b>day2</b> 5分 メイン①生理食塩液 50mL 1B 24時間 メイン②生理食塩液 1L 1B フルオロウラシル注 ( )mg <b>day3~4</b> 24時間 メイン①生理食塩液 1L 1B フルオロウラシル注 ( )mg <b>day5</b> 24時間 メイン①生理食塩液 1L 1B フルオロウラシル注 ( )mg 全開 メイン②生理食塩液 50mL 1B (5分)
	day1 アプレピタントカプセル125mg 化学療法前 1回 day2,3 アプレピタントカプセル80mg分1 朝食後		
内服	day2~4 デカドロン錠8mg分2 食後		<b>day1</b> 5分 メイン①生理食塩液 50mL 1B 24時間 側①(メイン①終了後) 生理食塩液 1L 1B フルオロウラシル注 ( )mg 2時間 メイン②ソルデム3A 500mL 1B フルオウラシル投与開始後、並行して開始 30分 メイン③パロセトン点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注 6.6mg 1V 30分 メイン④マンニトール S 300mL 1B フルオウラシルを止めて投与 5分 側②(メイン④終了後、側①と別ルートで) 生理食塩液 50mL 1B 2時間 側③(側②と同一ルートから) 生理食塩液 500mL 1B シスプラチン ( )mg フルオウラシルと同時に投与 5分 側④(側③シスプラチン終了後、同一ルートから) 生理食塩液 50mL 1B 2時間 メイン⑤ソルデム3A 500mL 1B 6時間 メイン⑥ソルデム3A 500mL 1B 5分 側⑤(側①フルオウラシル終了後、同一ルートから) 生理食塩液 50mL 1B
	day1		
<b>備 考</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・day2の点滴開始前にルートを交換</li> </ul>			
<b>【レジメンシステム登録】</b> 05002-2A FP 補助(手術前後・CRT 後) <b>インターバル3週で登録</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アプレピタントはレジメン内の処方に登録</li> <li>・デカドロン錠は適宜処方内服オーダ</li> </ul>			

05004	食道癌	Docetaxel(食道)	申請科
			外科

H21.2 承認 H.27.7 改訂 H31.1 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ドセタキセル (docetaxel)	60mg~70mg/m <sup>2</sup>	i. v. (1h以上)	day1
<b>3週毎</b> <b>耐性になるまで</b>			
<b>化療ベット予約：2時間で登録</b>			
<b>Regimen</b>			
30分	<b>day1</b> メイン①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg		
60分	側①5%ブドウ糖液 250mL 1B ドセタキセル ( )mg		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B		
<b>備考</b>			
<b>【レジメンシステム登録】</b> 05004-1A Docetaxel(食道) ・70mg/m <sup>2</sup> で登録			

05005	食道癌	Low dose FP	申請科
			外科

H27.7 改訂、H28.6 改訂 H30.10 改訂 H31.3 改訂 科別(外科)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
フルオロウラシル (5-Fu)	500~750mg/body/day	div.(24h 持続)	5day/w × 4week
シスプラチン(CDDP) (cisplatin)	5~10mg/body/day	i. v. (側管)	5day/w × 4week
6週間毎			
Regimen			
	<p><b>day1</b></p> <p>5分 メイン①生理食塩液 50mL 1B</p> <p>24時間 メイン②生理食塩液 1L 1B</p> <p>緩徐に フルオロウラシル注 ( )mg</p> <p>側①シスプラチン注 ( )mg (緩徐に iv. または 生理食塩液 100mL で60分 div. )</p> <p>5分 側②生理食塩液 50mL 1B</p> <p><b>day2~4</b></p> <p>24時間 メイン①生理食塩液 1L 1B</p> <p>緩徐に フルオロウラシル注 ( )mg</p> <p>側①シスプラチン注 ( )mg (緩徐に iv. または 生理食塩液 100mL で60分 div. )</p> <p>5分 側②生理食塩液 50mL 1B</p> <p><b>day5</b></p> <p>24時間 メイン①生理食塩液 1L 1B</p> <p>緩徐に フルオロウラシル注 ( )mg</p> <p>側①シスプラチン注 ( )mg (緩徐に iv. または 生理食塩液 100mL で60分 div. )</p> <p>5分 側②生理食塩液 50mL 1B</p> <p>全開 メイン②生理食塩液 50mL 1B (5分)</p> <p>(4週繰り返し、2週休薬)</p>		
	<p><b>備 考</b></p> <p>【レジメンシステム登録】</p> <p>05005-1B Low dose FP</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5-FU 750mg/body で登録</li> <li>・CDDP 10mg/body、生食 100mL で希釈、 60分点滴静注で登録</li> </ul>		

05006	食道癌	Low dose FP+Radiation	申請科
			外科

H27.7 改訂、H28.6 改訂 H30. 改訂 科別(外科)※消化器内科から外科へ H24.3

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
フルオロウラシル (5-Fu)	200mg/m <sup>2</sup> /day	div.(24h 持続)	5day/week × 6weeks
シスプラチン(CDDP) (cisplatin)	4mg/m <sup>2</sup> /day	i. v. (側管) 又はdiv.(60分)	5day/week × 6weeks
Radiation	2Gy/Day (60Gy/30Fr/6w)		5day/week × 6weeks

6週1クールで終了

Regimen

day1		day5	
5分	メイン①生理食塩液 50mL 1B	24時間	メイン①生理食塩液 1L 1B
24時間	メイン②生理食塩液 1L 1B		フルオロウラシル注 ( )mg
緩徐に	フルオロウラシル注 ( )mg	緩徐に	側①シスプラチン注 ( )mg
	側①シスプラチン注 ( )mg		(緩徐に iv. または
	(緩徐に iv. または		生理食塩液 100mL で60分 div. )
5分	側②生理食塩液 50mL 1B	5分	側②生理食塩液 50mL 1B
		全開	メイン②生理食塩液 50mL 1B
		(5分)	
			(6週繰り返す)
<b>day2~4</b>			
24時間	メイン①生理食塩液 1L 1B		
緩徐に	フルオロウラシル注 ( )mg		
	側①シスプラチン注 ( )mg		
	(緩徐に iv. または		
	生理食塩液 100mL で60分 div. )		
5分	側②生理食塩液 50mL 1B		
<b>備 考</b>			
<b>【レジメンシステム登録】</b>			
05006-1B Low dose FP+Radiation			
・1クール6週間			
(day1~5・8~12・15~19・22~26・29~33			
・36~40投与)で入力			
・CDDP:生食 100mL で希釈、60分点滴静注で登録			

05009	食道癌	Paclitaxel	申請科
			内科

H30.3 改訂 R3.9 改訂 R4.3 改訂 R6.10 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
パクリタキセル (paclitaxel)	100mg/m <sup>2</sup>	div. (1h).	day1、8、15、 22、29、36

6投1休(7週間毎)

耐性になるまで

(外来) 化療ベット予約 : 2 時間で登録

Regimen

	<b>day1、8、15、22、29、36</b>				
10分	メイン①生理食塩液	100mL	1B		
	デキサート注	6.6mg	1V		
	ファモチジン注	20mg	1V		
	ポララミン注	5mg	1A		
30分	側①生理食塩液	50mL	1B		
1時間	側②5%ブドウ糖液	250mL	1B		
	パクリタキセル点滴静注液( )mg				
5分	側③生理食塩液	50mL	1B		
<b>備 考</b>					
<b>【レジメンシステム登録】</b>					
05009-2A Paclitaxel					

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
05010	共通	食道癌	<a href="#">ニボルマブ療法(240mg)(食道 進行・再発)</a>	外科・ 消化器外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb <b>IV</b>		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )		
PS; 0 ~ 1 ( まで)				
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
オプジーボ (Nivolumab)	240mg/body	div.(30分)	Day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	2週毎 可能な限り継続	化療ベット予約: 1時間で登録		
Radiation 併用 無	1回 Gy×	日、Total	Gy×	Fr
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			備考
5分	day1 メイン①生理食塩液 50mL	1B		<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オプジーボ投与にあたり、インラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を使用すること。</li> <li>・オプジーボ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は0.35mg/mL以上、総液量は60mL以上を目安とすること。</li> <li>なお、希釈する場合、総液量は体重30kg以上の患者には150mL以下、体重30kg未満の患者には100mL以下とする必要があるため、体重30kg未満の場合はボトルから生食30mLを抜き取る(薬剤部調製時)(薬品コメントとして登録済)。</li> <li>・30分以上かけて点滴静注すること。</li> <li>・オプジーボにより infusion reaction が発現することがあるため、オプジーボとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。</li> </ul> <p>【レジメンシステム登録】 05010-1A ニボルマブ療法(240mg)(食道 進行・再発)</p>
30分	側①生理食塩液 100mL オプジーボ 240mg	1B 1V		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL	1B		

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
05011	共通	食道癌	<b>FOLFOX (食道)(アロキシ)</b>	外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb ㊸		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )		
PS; ~ ( まで)				
薬剤の量・経路・時間・1クールでの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
オキサリプラチン 5-FU	85mg/m <sup>2</sup> /day 400mg/m <sup>2</sup> /Day 2400mg/m <sup>2</sup> /46h	Div(120min) Div(15min) Div(46h)	Day1 Day1 Day1~3	
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup> /Day	Div(2h)	Day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	2週毎 可能な限り継続	化療ベット予約: 3時間で登録		
Radiation 併用 無	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート	46時間	Day 1~3 静脈ポート(シュアーフューザーA SFS-1036HRP) ポート②フルオロウラシル( )mg 生理食塩液 100mL ※全量100mLに調製する。 (ポート=2400mg/m <sup>2</sup> ) ポート③ヘパリン Na ロック用 (100単位/mL)10mL 1本	
30分	Day1 ポート①生理食塩液 20mL フラッシュ1本 メイン①パロ/セトロン点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注 6.6mg 1V	備 考		
2時間	メイン②5%ブドウ糖液 250mL 1B レボホリナート( )mg			
2時間	側①(メイン②と同時に) 5%ブドウ糖 250mL 1B オキサリプラチン( )mg			
15分	側②(メイン②終了後) 5%ブドウ糖 100mL 1B フルオロウラシル( )mg (側②400mg/m <sup>2</sup> )			
5分	側③生理食塩液 50mL 1B	【レジメンシステム登録】 05011-1A FOLFOX(食道)(アロキシ)		



コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
05012-1A	共通	進行再発食道癌	<u>ペムブロリズマブ+FP</u>	外科
適応患者				
病期(stage); I IIa <u>IIb III IIIa IIIb IIIc IV IVa IVb</u>		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )		
PS; 0~1 ( まで)				
薬剤の量・経路・時間・1クールでの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
キイトルーダ (pembrolizumab)	200mg/body	div(30分)	day1	
フルオロウラシル (5-FU)	800mg/m <sup>2</sup> /day	div(24 持続)	day1~5	
シスプラチン(CDDP) (cisplatin)	80mg/m <sup>2</sup> /day	div(2h)	day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)※	3 週毎・回 Pem、5 FU : 35 クール、 CDDP:6クール	化療ベット予約: 時間で登録		
Radiation 併用 無	1回 Gy×	日、Total Gy×	Fr	
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート	2 時間	側⑤(側④と同ルートから)	
内服	アプレピタントカプセル及びデカドロン錠を併用		生理食塩液	500mL 1B
	day1 アプレピタントカプセル 125mg 化学療法前 1回		シスプラチン ( )mg	
	day2,3 アプレピタントカプセル 80mg 分1 朝食後		フルオロウラシルと同時に投与	
	day2~4 デカドロン錠 8mg 分2 食後			
	<b>day1</b>	5 分	側⑥(側⑤シスプラチン終了後、同ルートから)	
5 分	メイン①生理食塩液 50mL 1B		生理食塩液	50mL 1B
30 分	側①生理食塩液 100mL 1B			
	キイトルーダ 100mg 2V	2 時間	メイン⑤ソルデム 3A	500mL 1B
5 分	側②生理食塩液 50mL 1B			
24 時間	側③(側②終了後)	6 時間	メイン⑥ソルデム 3A	500mL 1B
	生理食塩液 1L 1B			
	フルオロウラシル注 ( )mg	5 分	側⑦(側③フルオロウラシル終了後、同ルートから)	
			生理食塩液	50mL 1B
2 時間	メイン②ソルデム 3A 500mL 1B			
	フルオロウラシル投与開始後、並行して開始	5 分	<b>day2</b>	
		24 時間	メイン①生理食塩液	50mL 1B
30 分	メイン③パロセトン点滴静注バッグ 0.75mg 1B		メイン②生理食塩液	1L 1B
	デキサート注 6.6mg 1V		フルオロウラシル注 ( )mg	
		24 時間	<b>day3~4</b>	
30 分	メイン④マンニトール S 300mL 1B		メイン①生理食塩液	1L 1B
	フルオロウラシルを止めて投与		フルオロウラシル注 ( )mg	
		24 時間	<b>day5</b>	
5 分	側④(メイン④終了後、側③と別ルートで)		メイン①生理食塩液	1L 1B
	生理食塩液 50mL 1B	全開(5 分)	フルオロウラシル注 ( )mg	
			メイン②生理食塩液	50mL 1B

## レジメン

### 備考

※疾患進行又は許容できない毒性発現まで継続(キイトルーダ、フルオウラシルは最大 35 サイクル、シスプラチン投与は最大 6 サイクル)(MSD 臨床試験方法資料から抜粋)

- ・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター(0.2~5  $\mu$ m)を使用すること
- ・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 1~10mg/mL となるように調製すること
- ・キイトルーダは 30 分間かけて点滴静注すること
- ・キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること
- ・day2 の点滴開始前にルートを交換

### 【レジメンシステム登録】

05012-1A ペムブロリズマブ+FP

- ・アプレピタントはレジメン内の処方に登録
- ・デカドロン錠は適宜処方内服オーダ

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
05013-1A	共通	食道癌	<a href="#">DCF</a>	外科・消化器外科
適応患者				
病期(stage); I <input type="checkbox"/> II <input checked="" type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> PS;0~1 ( まで)		<input type="checkbox"/> adjuvant <input checked="" type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他		
薬剤の量・経路・時間・1クールでの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
ドセタキセル (Docetaxel)	70mg/m <sup>2</sup>	div(1h)	Day1	
シスプラチン (Cisplatin)	70mg/m <sup>2</sup>	div(2h)	Day1	
フルオロウラシル (5-FU)	750mg/m <sup>2</sup>	div(24h 持続)	Day1~5	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3週毎・3回	化療ベット予約: 時間で登録		
Radiation 併用 無	1回 Gy×	日、Total	Gy×	Fr
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート		2時間	側⑤(側④と同ルートから)
内服	アプレピタントカプセル及びデカドロン錠を併用する			生理食塩液 500mL 1B
	day1	アプレピタントカプセル 125mg		シスプラチン ( )mg
内服	化学療法前 1回			フルオロウラシルと同時に投与
	day2,3	アプレピタントカプセル 80mg 分1 朝食後	5分	側⑥(側⑤)シスプラチン終了後、同一ルートから)
	day2~4	デカドロン錠 8mg 分2 食後		生理食塩液 50mL 1B
	<b>day1</b>		2時間	メイン④ソルデム 3A 500mL 1B
30分	メイン①ハロ/セトロン点滴静注バッグ 0.75mg	1B	6時間	メイン⑤ソルデム 3A 500mL 1B
	デキサート注 6.6mg	1V	5分	側⑦(側③)フルオロウラシル終了後、同一ルートから)
	デキサート注 1.65mg	2A		生理食塩液 50mL 1B
60分	側①5%ブドウ糖液 250mL	1B	<b>day2</b>	5分
	ドセタキセル ( )mg		24時間	メイン①生理食塩液 50mL 1B
5分	側②生理食塩液 50mL	1B		メイン②生理食塩液 1L 1B
24時間	側③(側②終了後)			フルオロウラシル ( )mg
	生理食塩液 1L	1B	<b>day3~4</b>	24時間
	フルオロウラシル ( )mg		24時間	メイン①生理食塩液 1L 1B
2時間	メイン②ソルデム 3A 500mL	1B		フルオロウラシル ( )mg
	フルオロウラシル投与開始後、並行して開始		<b>day5</b>	24時間
30分	メイン③マンニトール S 300mL	1B		メイン①生理食塩液 1L 1B
	フルオロウラシルを止めて投与			フルオロウラシル ( )mg
5分	側④(メイン③終了後、側③と別ルートで)		全開(5分)	メイン②生理食塩液 50mL 1B
	生理食塩液 50mL	1B	備考	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・day2 の点滴開始前にルートを交換</li> </ul> <b>【レジメンシステム登録】</b> 05013-1A DCF <ul style="list-style-type: none"> <li>・アプレピタントはレジメン内の処方登録</li> <li>・デカドロン錠は適宜処方内服オーダー</li> </ul>				

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
05014-1A	共通	食道癌	<a href="#">(標準)FP+Radiation</a>	消化器内科
適応患者				
病期(stage); I IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他		
PS:0~2( まで)				
薬剤の量・経路・時間・1クール of 投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
5-FU	700mg/m <sup>2</sup> /日	点滴(24時間持続)	1~4日目	
シスプラチン(CDDP)	70mg/m <sup>2</sup> /日	点滴(2時間)	1日目	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	4週毎・2回	化療ベット予約: 時間で登録		
Radiation 併用 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	1回 2Gy × 30日、Total 60Gy × Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート	6時間	5分	5分
内服	アプレピタントカプセル及びデカドロン錠を併用する。 day1 アプレピタントカプセル125mg 化学療法前 1回	メイン⑥ソルデム3A 500mL 1B	側⑤(側①フルオロウラシル終了後、同ルートから) 生理食塩液 50mL 1B	
内服	day2,3 アプレピタントカプセル80mg分1 朝食後 day2~4 デカドロン錠8mg分2 食後	5分	<b>day2</b>	
5分	day1 メイン①生理食塩液 50mL 1B	24時間	メイン①生理食塩液 50mL 1B メイン②生理食塩液 1L 1B フルオロウラシル注 ( )mg	
24時間	側①(メイン①終了後) 生理食塩液 1L 1B フルオロウラシル注 ( )mg	24時間	<b>day3</b> メイン①生理食塩液 1L 1B フルオロウラシル注 ( )mg	
2時間	メイン②ソルデム3A 500mL 1B フルオロウラシル投与開始後、並行して開始	24時間	<b>day4</b> メイン①生理食塩液 1L 1B フルオロウラシル注 ( )mg	
30分	メイン③パロセトン点滴静注ハック 0.75mg 1B デキサート注 6.6mg 1V	全開(5分)	フルオロウラシル注 ( )mg メイン②生理食塩液 50mL 1B	
30分	メイン④マンニトール S 300mL 1B フルオロウラシルを止めて投与	備考 【レジメンシステム登録】 ・day2の点滴開始前にルートを交換  【レジメンシステム登録】 05014-1A (標準)FP+Radiation  ・アプレピタントはレジメン内の処方に登録 ・デカドロン錠は適宜処方内服オーダー		
5分	側②(メイン④終了後、側①と別ルートで) 生理食塩液 50mL 1B			
2時間	側③(側②と同ルートから) 生理食塩液 500mL 1B シスプラチン ( )mg フルオロウラシルと同時に投与			
5分	側④(側③シスプラチン終了後、同ルートから) 生理食塩液 50mL 1B			
2時間	メイン⑤ソルデム3A 500mL 1B			

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
05015-1A	共通	食道癌	<a href="#">ニボルマブ療法(480mg)(食道 進行・再発)</a>	外科・消化器外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb <b>IV</b>		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行		
PS; 0 ~ 1 ( まで)		<input type="checkbox"/> その他( )		
薬剤の量・経路・時間・1クルルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クルル数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クルル)	
オプジーボ (Nivolumab)	480mg/body	div.(30分)	Day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	4週毎 可能な限り継続	化療ベット予約: 1時間で登録		
Radiation 併用 無				
1回 Gy× 日、Total Gy× Fr				
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			備考
5分	day1 メイン①生理食塩液 50mL	1B		<p>・オプジーボ投与にあたり、インラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を使用すること。</p> <p>・オプジーボ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は0.35mg/mL以上、総液量は60mL以上を目安とすること。</p> <p>なお、希釈する場合、総液量は体重30kg以上の患者には150mL以下、体重30kg未満の患者には100mL以下とする必要があるため、体重30kg未満の場合はボトルから生食30mLを抜き取る(薬剤部調製時)(薬品コメントとして登録済)。</p> <p>・30分以上かけて点滴静注すること。</p> <p>・オプジーボにより infusion reaction が発現することがあるため、オプジーボとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。</p> <p>【レジメンシステム登録】 05015-1A ニボルマブ療法(480mg)(食道 進行・再発)</p>
30分	側①生理食塩液 100mL オプジーボ 240mg	1B 2V		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL	1B		

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
05016-1A	共通	食道癌	<a href="#">ニボルマブ療法(240mg)(食道 術後補助)</a>	外科・消化器外科
適応患者				
病期(stage); I <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">IIa IIb IIIa IIIb</span> IV		<input checked="" type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )		
PS; 0 ~ 1 ( まで)				
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
オプジーボ (Nivolumab)	240mg/body	div.(30分)	Day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	2週毎・24回	化療ベット予約:1時間で登録		
Radiation 併用 有・無	1回 Gy×	日、Total	Gy×	Fr
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
5分  30分  全開 (5分)	day1			
	メイン①生理食塩液 50mL	1B		<b>備考</b> ・オプジーボ投与にあたり、インラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を使用すること。 ・オプジーボ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は0.35mg/mL以上、総液量は60mL以上を目安とすること。 なお、希釈する場合、総液量は体重30kg以上の患者には150mL以下、体重30kg未満の患者には100mL以下とする必要があるため、体重30kg未満の場合はボトルから生食30mLを抜き取る(薬剤部調製時)(薬品コメントとして登録済)。 ・30分以上かけて点滴静注すること。 ・オプジーボによりinfusion reactionが発現することがあるため、オプジーボとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。 <b>【レジメンシステム登録】</b> 05016-1A ニボルマブ療法(240mg)(食道 術後補助)
	側①生理食塩液 100mL オプジーボ 240mg	1B 1V		
側②生理食塩液 50mL	1B			

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
05017-1A	共通	食道癌	<a href="#">ニボルマブ療法(480mg)(食道 術後補助)</a>	外科・消化器外科
適応患者				
病期(stage); I <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">IIa IIb IIIa IIIb</span> IV		<input checked="" type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行		
PS; 0 ~ 1 ( まで)		<input type="checkbox"/> その他( )		
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
オプジーボ (Nivolumab)	480mg/body	div.(30分)	Day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	4週毎・12回	化療ベット予約: 1時間で登録		
Radiation 併用 有・無	1回 Gy×	日、Total	Gy×	Fr
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
5分  30分  全開 (5分)	day1			
	メイン①生理食塩液 50mL	1B		<b>備考</b> ・オプジーボ投与にあたり、インラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を使用すること。 ・オプジーボ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は0.35mg/mL以上、総液量は60mL以上を目安とすること。 なお、希釈する場合、総液量は体重30kg以上の患者には150mL以下、体重30kg未満の患者には100mL以下とする必要があるため、体重30kg未満の場合はボトルから生食30mLを抜き取る(薬剤部調製時)(薬品コメントとして登録済)。 ・30分以上かけて点滴静注すること。 ・オプジーボによりinfusion reactionが発現することがあるため、オプジーボとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。 <b>【レジメンシステム登録】</b> 05017-1A ニボルマブ療法(480mg)(食道 術後補助)
	側①生理食塩液 100mL オプジーボ 240mg	1B 2V		
側②生理食塩液 50mL	1B			